



近藤大介議員

## 具体的な政策の取り組みは

### 町長 担当課と今後検討する

**問** ①新町長として、合併4年間を振り返り、町行政の課題をどう考えるか。町民の期待をどのように受け止めているか。

②選挙公約をどのような手法、政策により具体化していくか。また、大きなスケジュールは。



町長と担当課の政策協議

**答** (森田町長) ①高速インターネットやケーブルテレビが入り、足を置き、町民と行政が

動する人たちの視点に軸足を置き、町民と行政が

住民や現場で働く、活動している。たとえている。

異動など役場と住民が縁遠くなり、住民の思い・熱意が行政になかなか届きにくい状況が生じてい

学校施設の建設・耐震化工事、大山恵みの里公社の設立・事業展開等が進む。一方、行政区が広域化し、めまぐるしい人事

共に取り組むまちづくりが必要と考えている。

自立可能な自治体運営と、「安心と元気の大山町」に向け、諸問題を、担当課長、職員と検証し、議会と議論をしながら、

町政発展のために取り組みたい。

②「安心と元気」を基本

に、(1)高齢者が安心して過ごせるまち

(2)子育てしやすいまち

(3)人に優しく安全安定のまち

(4)多様な資源を活かす元気なまち

(5)元気な町民・職員のまち

を掲げているが、具体的な内容は、今後、担当課と議論を重ねながら進めたい。

### 答

(森田町長)

高値での販売先確保が必

要である。

「鳥取地どりピヨ」を

## 大山の地鶏を特産品に

### 町長

### 取り組む農家があるなら検討

**問** 大山の知名度向上に貢献のあつた「大山地鶏」

(鳥取地どりピヨ)が、製造元の経営破たんで供給されなくなっている。

市場のニーズも高く、また、ピヨの開発に努力してきた県も、ピヨの復興支援に前向きと聞いています。

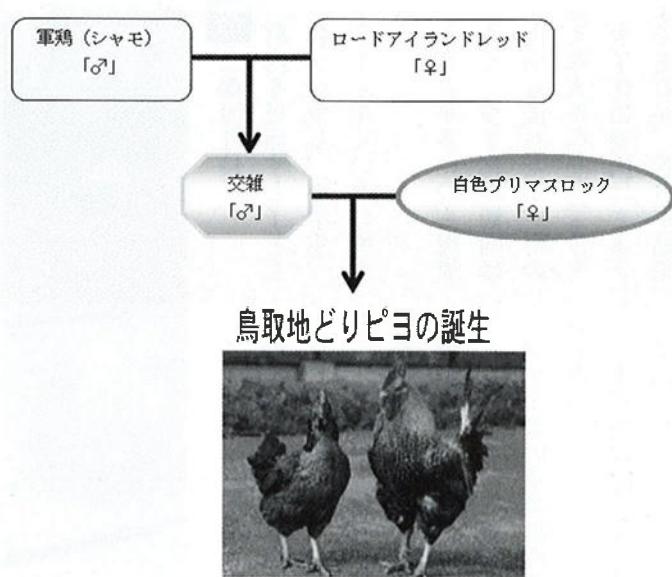
町内の新たな特産品づくりのために、町内の農家にピヨ飼育を呼び掛け、初期投資に補助をしながら、本町で地鶏の飼育振興を図れないか。

初期投資に補助をしながら、本町で地鶏の飼育振興を図れないか。

要になる。本町で生産されれば、良い「大山ブランド」の一つになり、問題点がクリアでいく

ならば、取り組む価値があると思っている。

導入される農業者等の意向があれば、関係機関と連携して、検討していく。



鳥取県のホームページより